
渡辺恒雄氏が青春と盟友の思い出を語る！ 『鈴木敏夫のジブリ汗まみれ』

10月21日放送のゲストは、読売新聞 渡辺恒雄氏

TOKYO FMの番組『鈴木敏夫のジブリ汗まみれ』（毎週日23:00～23:30／TOKYO FM系列全国38局ネット）では、10月21日放送回のゲストとして、読売新聞グループ本社代表取締役会長・主筆の渡辺恒雄氏を迎えます。

話題は、去年3月28日に他界された、前・日本テレビ放送網代表取締役会長の氏家齊一郎氏のこと。渡辺恒雄氏と氏家齊一郎氏は、ともに同じ大正15年の同じ5月生まれ。高校時代からの友人で、同じ読売新聞社で記者として活躍。そんな唯一無二の盟友との懐かしい思い出を大いに語ります。

たとえば、学生時代、氏家氏が英語が苦手な落第話、読売新聞記者時代、2人で新宿で酔っ払い相手にケンカをして警察に包囲された話、氏家氏が奥様を懸命に口説いた話など、メディア界の重鎮2人の知られざる青春の思い出が語られる貴重な内容となっています。聞き手は作家の塩野米松さんです。



【番組概要】

■タイトル：「鈴木敏夫のジブリ汗まみれ」

■放送日時：毎週日曜 23:00～23:30（TOKYO FMをはじめとするJFN全国38局ネットで放送）

■パーソナリティ：鈴木敏夫

■番組概要：メガヒット作品を生み出し続けるスタジオジブリのプロデューサー・鈴木敏夫が初めてパーソナリティを務める番組として2007年10月7日よりスタート。番組の設定は、ジブリの森のラジオの川のほとりに建つ、鈴木敏夫の隠れ家「れんが屋」。日曜日の夜になると「れんが屋」に各界の著名人が集まり、鈴木敏夫を囲んでリラックスした会話が繰り広げられます。スタジオジブリ作品の裏側や、時代を捉えるクリエイターとしての鈴木敏夫の視点や信条が語られる貴重なプログラム。

【参考情報：書籍「昭和という時代を生きて」発売】

スタジオジブリ発行の小冊子「熱風」で連載されていた、氏家齊一郎さんへの聞き書き「昭和という時代を生きて」（聞き手は作家の塩野米松さん）が単行本になって、11月15日に岩波書店より発売されます。「親父にはかなわない」と発言するほど敬愛していた父のこと、学生時代の演劇活動、共産党活動への傾斜など、昭和という時代を生き抜いたマスコミ人が、みずからの一生を語ります。